

三重県地域医療再生計画（案）【概要版】

— 医療提供体制の確立に向けて —

平成21年10月

三 重 県

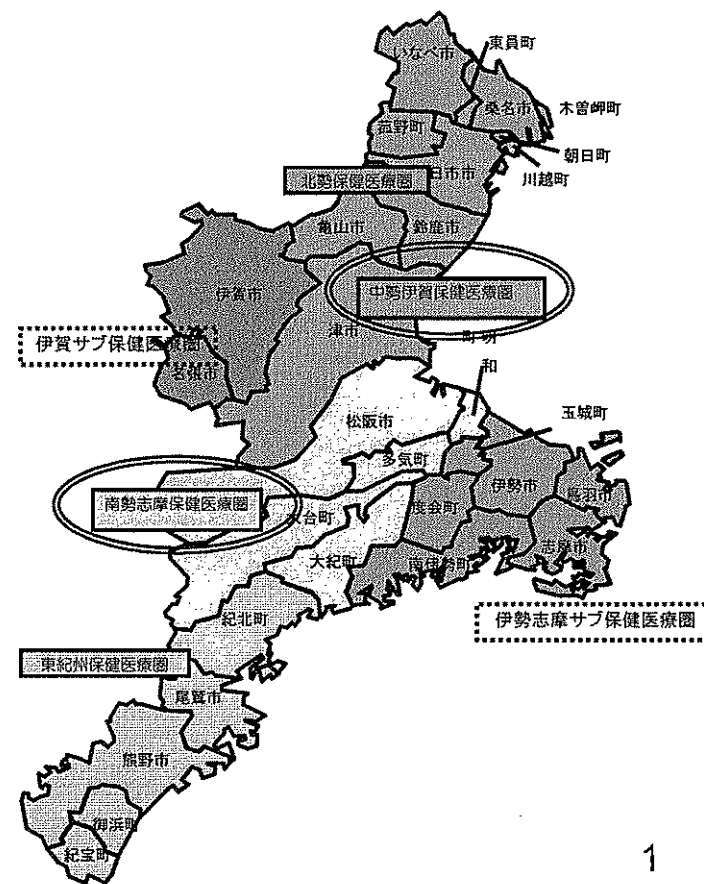
三重県地域医療再生計画 ー医療提供体制の確立に向けてー

背景

- 人口あたりの医師数が全国平均及び東海北陸地方の平均より少ない三重県では、全県的な医師不足に加え、近年、特に地域の救急医療を担う公立病院の勤務医師数の減少が顕著である。
- こうした中、県民の安心・安全な生活を支えるセーフティネットである救急医療をはじめとした、地域の医療提供体制の確保が重要な課題となっている。

地域医療再生計画の目指すもの

- こうした課題を解決するため、三重県ではこれまで県独自の取組（医師修学資金貸与制度やポジティブスパイラルプロジェクト等）を実施してきたところ。
- 今般、課題解決に向けた取組をさらに加速させるため「地域医療再生臨時特例交付金（50億円）」を活用し、
 - ①医療従事者の確保など、県全体で取り組むことが適当な事業
 - ②中勢伊賀保健医療圏及び南勢志摩保健医療圏における病院の機能分担・再編など、当該地域の医療提供体制の充実に向けた取組を実施することとしたい。



地域医療の確保に向けた三重県独自の取組

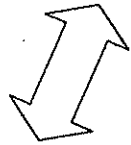
- 医師不足による勤務医の負担増と、それに伴う離職が医療現場をいっそう厳しい状況にしています。
- 三重県では、こうした負の連鎖をくい止め、持続可能な医療提供体制を確保するため、平成21年度から、従来より実施してきた修学資金貸与制度に加え、三重大学や市町等と協働し、医師の養成からキャリアアップ、地域定着までを一貫して支援する医師確保対策(ポジティブスパイラルプロジェクト)を行っています。

ポジティブスパイラルプロジェクト

①バディホスピタルシステム

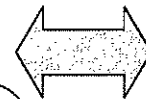
- ・医師不足地域の病院に対して、支援病院から医師を派遣することにより地域医療の確保を目指す。派遣された医師は、地域医療を守るための即戦力としての役割を担う。

(※)医師不足地域の病院と都市部の病院がバディ(相棒)となって、診療支援を実施する仕組み



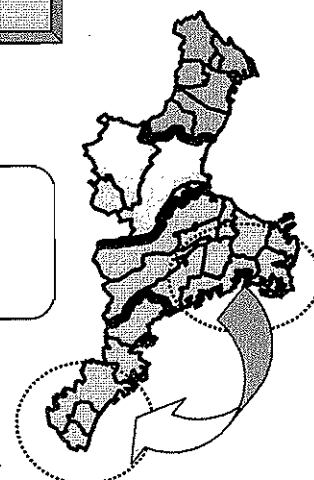
②医師育成体制の充実

- ・三重大学医学部内の「医学・看護学教育センター」の体制を強化し、医療を担う人材の育成を市町と協力しながら行う。
- ・市町村振興協会から三重大学に対して、6年間の継続的な支援を行う(100,000千円×6年間)。



③地域医療研修の充実

- ・地域医療研修センターを紀南病院に設置し、医学生・研修医に対して実践的な地域医療研修を提供する。



バディホスピタルシステムによる診療支援

①県全体で取り組む事業 基金 22億円

主な課題1 : 医療従事者の確保

- 取組の例
- ・修学資金貸与制度(10.3億円)
 - ・県内臨床研修病院への支援(0.9億円)
 - ・地域医療に貢献する医師への支援(0.3億円)
 - ・三重大学医学部の定員増
 - ・三重大学への寄附講座の設置(0.8億円)
 - ・医師派遣による地域医療の支援(0.5億円)

主な課題2 : 地域連携体制の構築

- 取組の例
- ・脳卒中診療に係る支援(1.0億円)
 - ・救急医療情報システムの再整備及び病院前救護体制の整備(4.6億円)

②二次医療圏単位で取り組む事業

中勢伊賀 基金 20億円

南勢志摩 基金 8億円

南勢志摩地域における主な課題

- ・広域医療連携体制の充実
- ・中山間地域における医療の確保

取組の例

- ・本県独自のドクターヘリの導入(再掲)(2.3億円)
- ・報徳病院と大台厚生病院との再編等(4.7億円)
- ・県南地域拠点病院への支援(3.5億円)

中勢伊賀地域における主な課題

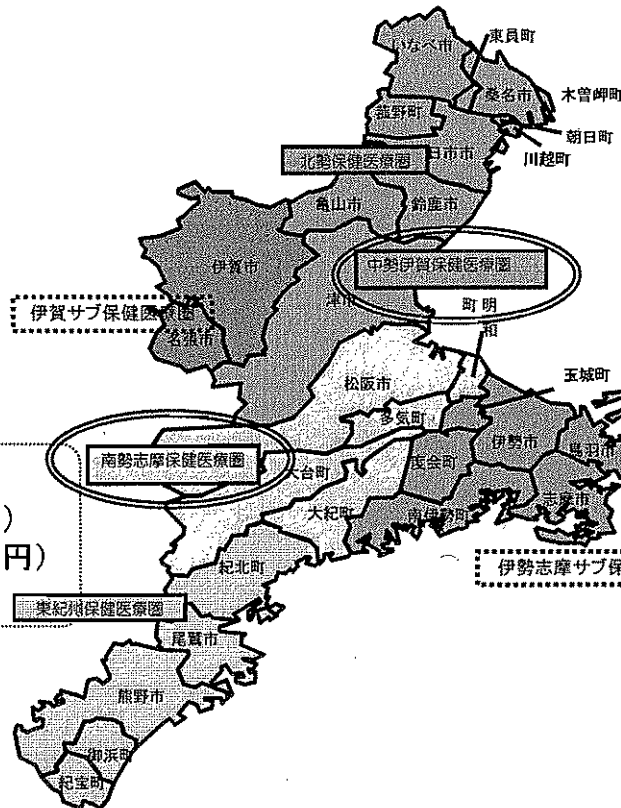
- ・救急医療体制の充実
- ・小児医療体制の充実
- ・周産期医療体制の充実

取組の例

- ・三重大学への救命救急センターの設置(2.6億円)
- ・本県独自のドクターヘリの導入(2.3億円)
- ・小児救急医療体制の充実(0.7億円)
- ・周産期医療体制の充実(0.6億円)

【伊賀サブ地域】

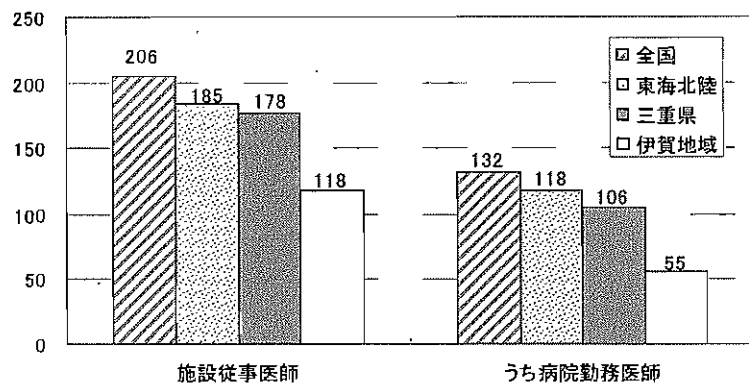
- ・二次救急医療体制の充実(12.6億円)



三重県地域医療再生計画

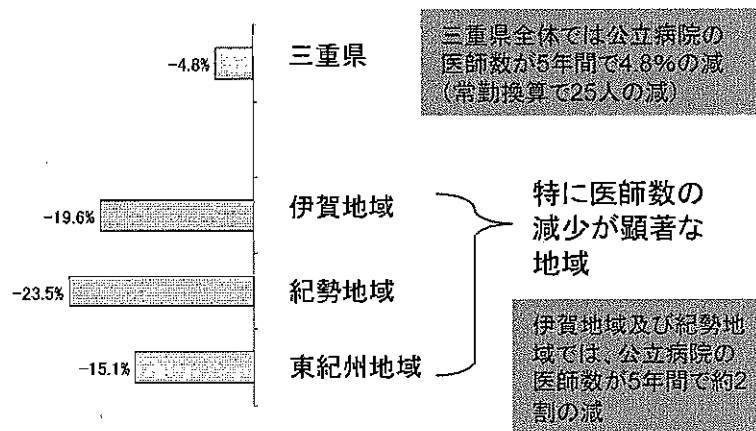
①県全体で取り組む事業

○人口10万人あたりの医師数



伊賀地域の病院勤務医数は全国平均の約40%

○公立病院における医師数の減少 (H16→H20の減少率)



課題① 医師の絶対数が少ない

県内の医師を増加させるための取組(例)

- ・医師修学資金貸与制度
- ・三重大学医学部の定員増
- ・県内臨床研修病院の魅力向上(NPO法人MMC)



【併せて看護職員を増加させるための取組も実施(例)】

- ・看護師、助産師への修学資金貸与制度
- ・看護師等養成所への支援

課題② 医師が偏在している(地域偏在、病診偏在等)

取組1: 地域医療を担う医師を増加させるための取組(例)

- ・地域医療に貢献する医師への各種支援
- ・修学資金貸与学生に対する働きかけ
- ・三重大学への寄附講座の設置
- ・医師派遣による地域医療の支援

取組2: 勤務医を増加させるための取組(例)

- ・勤務医の負担軽減に向けた取組への支援
- ・分娩手当の給付
- ・救急勤務医手当の給付

⇒ 課題①、②への的確な対応により、三重県内の医師(特に地域の病院勤務医師)の確保を目指す。

伊賀地域における地域医療体制の再構築

(別紙1)

